

平成28年度 NHKグループ合同入局・入社式 靱井会長訓示（要旨）

NHK並びにNHKグループ各社の皆さんの入局式・入社式を、初めて一緒にやることになりました。グループ一体となって仕事をしていくということを皆さんにも実感として味わってほしい。そういう心を込めまして、合同入局・入社式を行うことにしたわけです。これは今後の我々の進む方向を示していると理解してもらえればよろしいと思います。

初めにNHKグループの使命と役割について少しお話したいと思います。我々の原点は放送法です。1から4条、15条をぜひ読んでみて下さい。NHKとは何であるかということが、ある程度理解してもらえらると思います。事実に基づき、公平・公正、不偏不党、何人からも規律されず、第三者から指示されることなく、放送をやっていくということです。公共放送NHKの大きな使命の1つに、命と暮らしを守るための放送、災害報道があります。5年前の東日本大震災の時のNHKの放送をよく憶えていると思います。刻一刻と変化する状況をテレビやラジオ、インターネットで伝え続けました。Eテレでは、子どもたちが毎日楽しみにしてくれている放送もありますし、スポーツ中継もご覧のとおりですが、少し現実を直視しますと、いわゆる59歳以下、つまり現役世代の人たちがNHKを見ている比率が非常に低い。そういうことも考慮して、来週から新しい番組編成に変わりますが、どうやったらNHKの番組が、皆さんに見てもらえるかということも、よくよく考えていただきたい。

あなたたちは新入局員、新入社員です。日本語では「新入」と言いますが、英語ではフレッシュマンといいます。新しいアイデアを持った人たちがNHKに入ってきて、NHKの古い思想を打破する。これぐらいの気持ちでやってもらいたい。皆さんが思っている直感をそのまま申し述べる。やはり思ったことを発言しないと、それに対するリアクションも出てこないわけです。皆さん思い切って発言していただきたい。これが長い歴史を持つNHKを変えていく大きな原動力になります。我々は新しいことにもチャレンジしています。放送では4K・8Kスーパーハイビジョン、今年ハリオ五輪で実際に放送する段階に来ております。そして2020年の東京オリンピックの時には最高水準の放送を目指しています。国際放送についてですが、最近のNHKワールドTVの変

化にはお気づきでしょうか。NHKワールドはスマホにアプリをダウンロードすれば、24時間見られますので、ぜひ見てほしい。おかげさまで日本のホテルにもずいぶんと協力していただき、外国から来たお客さんが、最近では日本の各地の魅力も含めて本当にいろいろ見られるようになりました。

仕事に対する心構えも少し話してみたいと思います。NHKは公共放送として高い見識が問われます。公共性に裏づけされた倫理観が皆さんに求められています。NHKでは昨今、不祥事が起こっています。タクシー券を私的に利用するとか業務でないことに使うということがあったわけですが、大変に由々しき問題です。私は皆さんが窮屈と思うぐらい緊張感を持って仕事をしてもらいたい。NHKグループの収入はほとんどが受信料です。視聴者の皆様からいただいているわけですから、その人たちの信頼を損なうことがないように、これは番組の内容もそうです。1円に至るまで視聴者の受信料で賄われている。色々な仕事をするに際してのコストも然りです。ぜひ頭に置いてください。

それから私の経験で申し訳ないんですが、私も商社に入って、鉄を勉強したいということで、入社1年目に自分で希望を出して、すぐ北九州の八幡支店に転勤しました。自分で物事を決める、自主的に転勤を申し出るということは大変なことでした。自分の意思でやはり頑張らなければならない。もう一度私は学生に戻って机に向かい、いろいろ勉強した記憶があります。皆さんも何のためにNHKに入ったのかということを繰り返し考えてください。

私が力を入れているのはワークライフ・バランスです。女性のことと捉えられがちですが、男性も含めてバランスのとれた働き方をしてほしい。女性の方には安心して結婚して、働いてほしい。NHKは、そういうことを安心してできるような制度になっています。職員が安心して一生を託せるNHK、これが私の経営の一番大事なポイントです。

最後に皆さんにお願いしたいことは、NHKグループの職員としての誇りを強く持ってほしいということです。誇りがあれば、誇りを汚すことなく自分でも仕事をしていこうと思われるはずです。フレッシュマンの皆さんの活躍とご健勝を大いに期待しています。